

東京都市大学 アクションプラン 2030

— 創立 90 周年 100 周年に向けて —

東京都市大学 アクションプラン 2030

本学は、2009 年度に総合大学として東京都市大学に名称変更し、新たにスタートして、2013 年度で 5 年目という節目を迎えました。これまでの取り組みに対し評価が期待されるとともに、その結果については十分検討、分析しながら未来志向での改革を進めていく必要があります。2020 年問題に象徴される 18 歳人口の一段の減少等、教育機関を取り巻く社会環境は一層厳しい時代に直面することになります。

このような従来にはない改革を求められる時代において、大学がアイデンティティを確立し、より一層社会に貢献するためにも、本学の持続的発展に向けた将来ビジョンを策定いたしました。その達成に向けた施策をもとに、各構成員がさらに力を集結させて計画的に行動を推進して行かなければならないと考え、この度、創立 90 周年（2019 年）と創立 100 周年（2029 年）という中長期的な視点から「東京都市大学アクションプラン 2030」を策定いたしました。

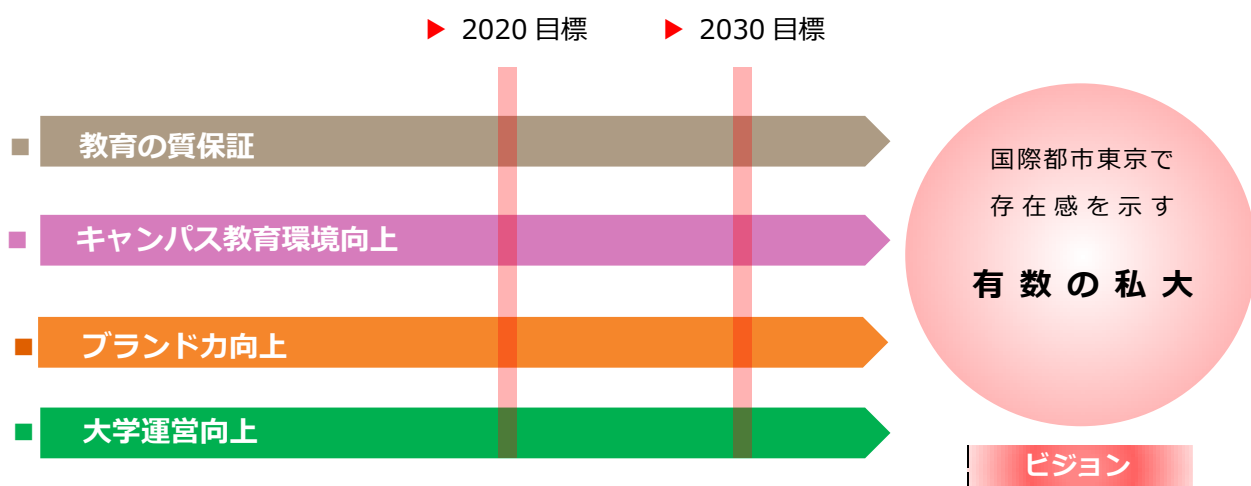
創立 90 周年、100 周年に向けて

東京都市大学 アクションプラン 2030

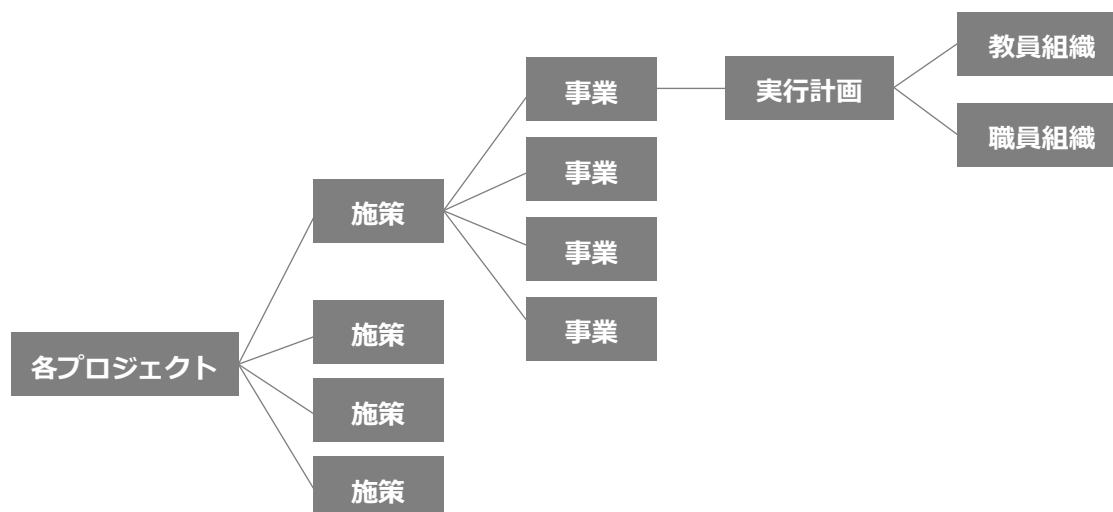


目標達成への道筋 - 4つのプロジェクト -

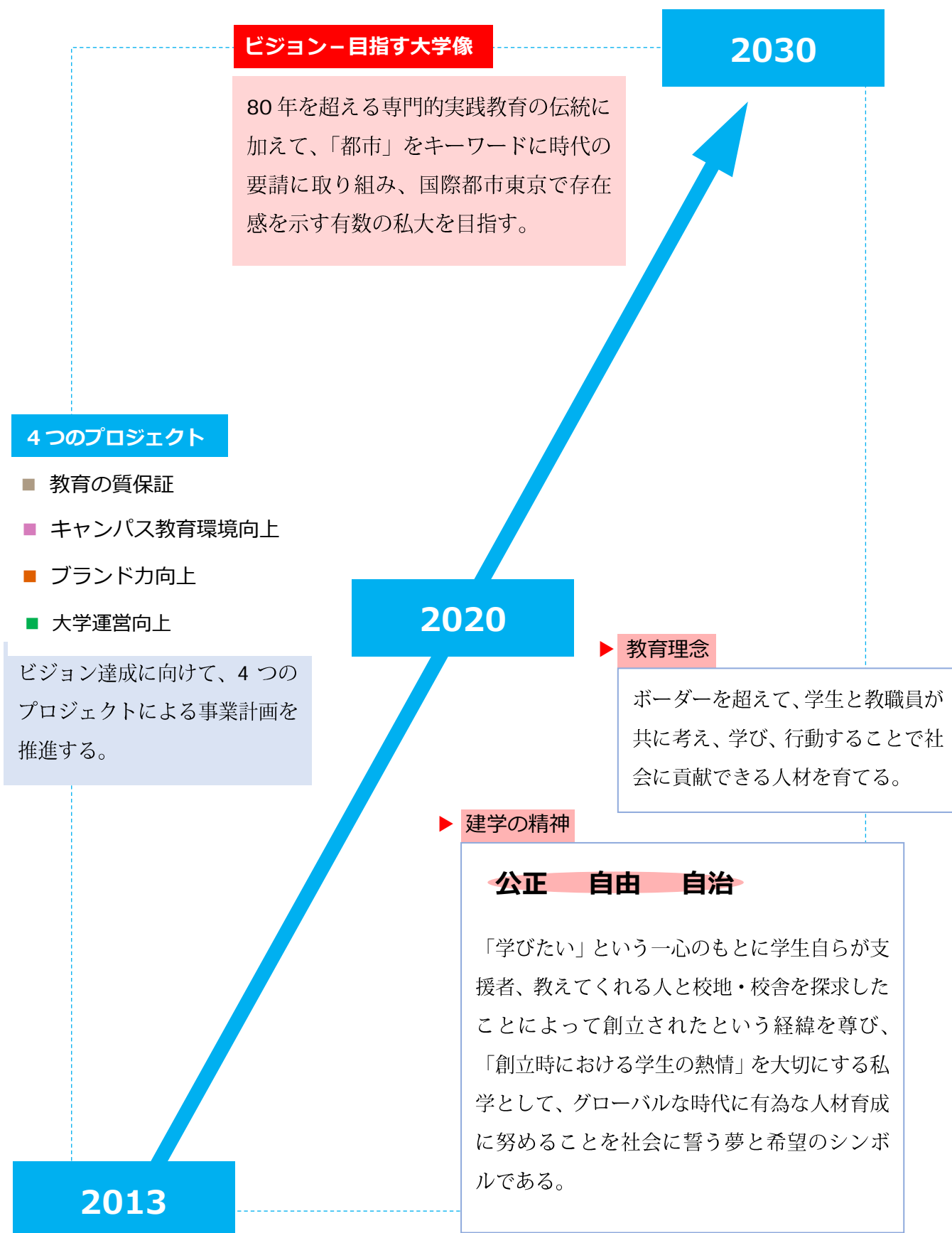
東京都市大学は、以下の4つのプロジェクトによる中長期計画（施策・事業）を策定・推進し、ビジョン達成に向けて教職員一丸となって邁進して参ります。



1つのプロジェクトのもとに、重点施策を設定し、さらにその重点施策のもとに、事業を設定します。事業の実行計画によって教員組織、職員組織あるいは共同で事業推進に取り組めます。



ビジョン達成に向けて - アクションプラン 2030 -



■ 教育の質保証プロジェクト

	施策・事業案	2020年度目標	2030年度目標
1	都市大教育理念に則った教育プログラムの確立 ① 明確な教育目標の設定 ② 教育目標に応じたカリキュラムの再構築 ③ 新しい教育制度の導入 ④ 主体的な学修を促す教育方法の導入 ⑤ 自校教育の導入	▶ 教育理念・教育目標に沿った教育プログラムの構築	▶ 国際標準の教育プログラムの確立と展開
2	教育の質を保証するためのマネジメントシステムの構築 ① FD活動による教育システムなどの開発 ② 教育プログラムの実効性の確認 ③ 教員相互協力による教育能力向上 ④ マネジメントシステムの第三者評価	▶ 教育の質保証が実証できるマネジメントシステムの構築	▶ 内外問わず高い評価を得られるマネジメントシステムの定着
3	グローバル化に対応した人材の育成 ① 学生のグローバル・リレーションシップ育成 ② 実践的英語教育の導入 ③ 学部学科単位による海外留学の推進 ④ 英語による授業の実施 ⑤ 教職員のグローバル化教育	▶ グローバル人材育成のためのシステムの整備・確立 ▶ KPI：学生の海外学習経験者数年間200名以上	▶ 国際社会で活躍できるスキルを身につけた人材育成
4	研究レベルに裏付けられた大学院での人材育成 ① 体系的なカリキュラムの構築 ② 学部・大学院の一貫教育の導入 ③ 国際会議発表の推進 ④ 産学連携／地域連携による共同研究の推進	▶ 研究レベル向上の為に大学院教育プログラムの確立	▶ 国際社会で高い評価を受ける研究レベルの大学院 ▶ KPI：博士号輩出年間50名以上

※KPI：key performance indicator（重要業績評価指標）

■ キャンパス教育環境向上プロジェクト

施策・事業案		2020年度目標	2030年度目標
1	施設の長寿命化及び更新（アメニティ空間の改善） ① 施設の計画的更新 ② 教育組織の規模に応じたキャンパスの整備 ③ 統合化されたICTを利用した教育設備／実践的な教育を実現する教育施設設備 ④ 大学の歴史を紹介する展示施設	▶ 3キャンパスのアメニティ空間の改善	▶ 都市大ブランドにふさわしいアメニティ空間の実現 ▶ KPI：キャンパス空間の拡大 校地1.5倍以上
2	グローバル化に対応する施設 ① 国際学生会館設置の検討 ② 知的創造のための拠点	▶ コンセプトに基づく計画の立案と具体化	▶ 国際感覚にあふれたキャンパスの実現
3	良質な学修環境 ① 時代に見合った学部学科構築のための検討／実施 ② 充実した学生生活支援 ③ 一般入試方式重視による入学生の質的向上	▶ 学生が誇りを持てる学修環境の実現 ▶ KPI：一般入試志願倍率10倍以上	▶ 他大学を凌駕する学修環境の実現 ▶ KPI：収容定員増1.5倍以上 ▶ KPI：総志願者数3万人以上

※KPI：key performance indicator（重要業績評価指標）



■ ブランド力向上プロジェクト

施策・事業案		2020年度目標	2030年度目標
1	広報力の強化によるブランド力 ① “広報戦略室”の設置 ② シンボルマークの作成、Webページの刷新 ③ SNSなどの双方向情報発信機能の活用など	▶ 創立90周年に向けての都市大ブランドの定着	▶ 創立100周年に向けての都市大ブランド力の向上
2	国際化の推進によるブランド力 ① インターナショナル交流の企画推進 ② 学生の海外留学への支援／教職員の海外研修 ③ 国内外企業へのインターンシップ制度の維持促進 ④ 海外の大学との交流システムの構築	▶ “東京都市大学”の知名度向上 ▶ KPI：海外インターンシップ参加学生数30名以上	▶ “Tokyo City University”の知名度向上 ▶ KPI：世界大学ランキング300位以内
3	産学協同体制の構築によるブランド力 ① 卒業生との交流活性化によるPR効果の促進 ② 産学協同研究成果の対外的なPR促進 ③ 地域社会との連携によるPR促進 ④ 特別教授制度による先端研究導入	▶ 各種連携によるPR効果の向上	▶ 各種連携成果の社会的な認知
4	創立記念事業によるブランド力 ① 創立90周年記念事業実行委員会の設立と運営 ② 創立100周年記念事業実行委員会の設立と運営 ③ 都市大ロゴ／キャッチフレーズ／グッズの制作	▶ 創立90周年記念事業による知名度の向上	▶ 創立100周年記念事業による知名度の向上
5	東京オリンピック開催に合わせた“都市大”ブランド力の向上戦略 ① 東京オリンピックの開催に合わせた東京都市大学としての貢献 ② 課外活動の強化（スポーツ）	▶ オリンピックへの貢献を通じた都市大のPR向上	

※KPI：key performance indicator（重要業績評価指標）

■ 大学運営向上プロジェクト

施策・事業案		2020年度目標	2030年度目標
1	中長期計画に基づくPDCAサイクルの確立と評価 ① 計画推進管理組織 ② 実施結果の評価組織	▶ 年度計画に基づく事業推進システムの定着	▶ 戦略的運営に基づく大学運営の確立
2	大学のガバナンス強化 ① 意思決定プロセスの迅速化 ② 年度目標の提示、実施、点検・評価 ③ 基本情報収集機能の確保 ④ 教員評価	▶ 目標の共有と責任感に基づく大学運営の確立	▶ 他大学の範になるガバナンスの確立
3	時代の変化に対応した大学運営組織 ① 効率的な事務運営 ② 学部運営の効率化 ③ 効率的な学内委員会制度 ④ 人材育成・確保 ⑤ 実効的な高大連携	▶ 変化の速い時代に対応できる運営の確立	▶ 自律変革可能な運営体制の確立
4	収支に立脚した財務基盤の確立 ① 外部資金の戦略的確保 ② 寄付金・募金の積極的展開 ③ 収益部門の多角化あるいは出資企業の新設 ④ 基礎収支を見据えた学部／学科構成（総合研究所を含む）	▶ 事業遂行を可能にする財務基盤の確立 ▶ KPI：外部資金8億円以上	▶ 持続的な大学発展に寄与する財務基盤の確立 ▶ KPI：外部資金15億円以上 ▶ KPI：帰属収入1.5倍以上

※KPI：key performance indicator（重要業績評価指標）

